

# B-S-A-L-M ~ NUDE

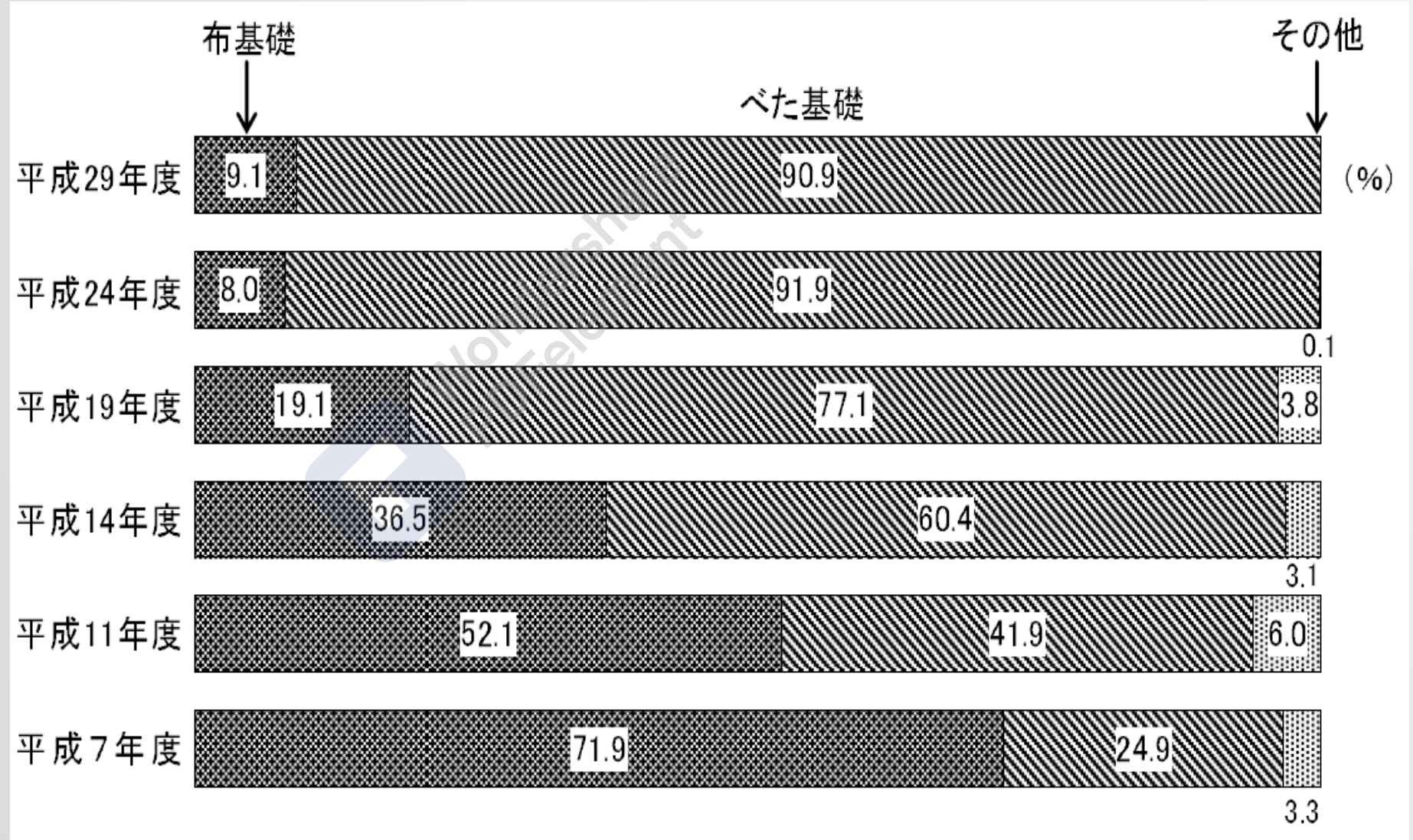
Base Structure Air LifeStyle Model



金物工法推進協議会

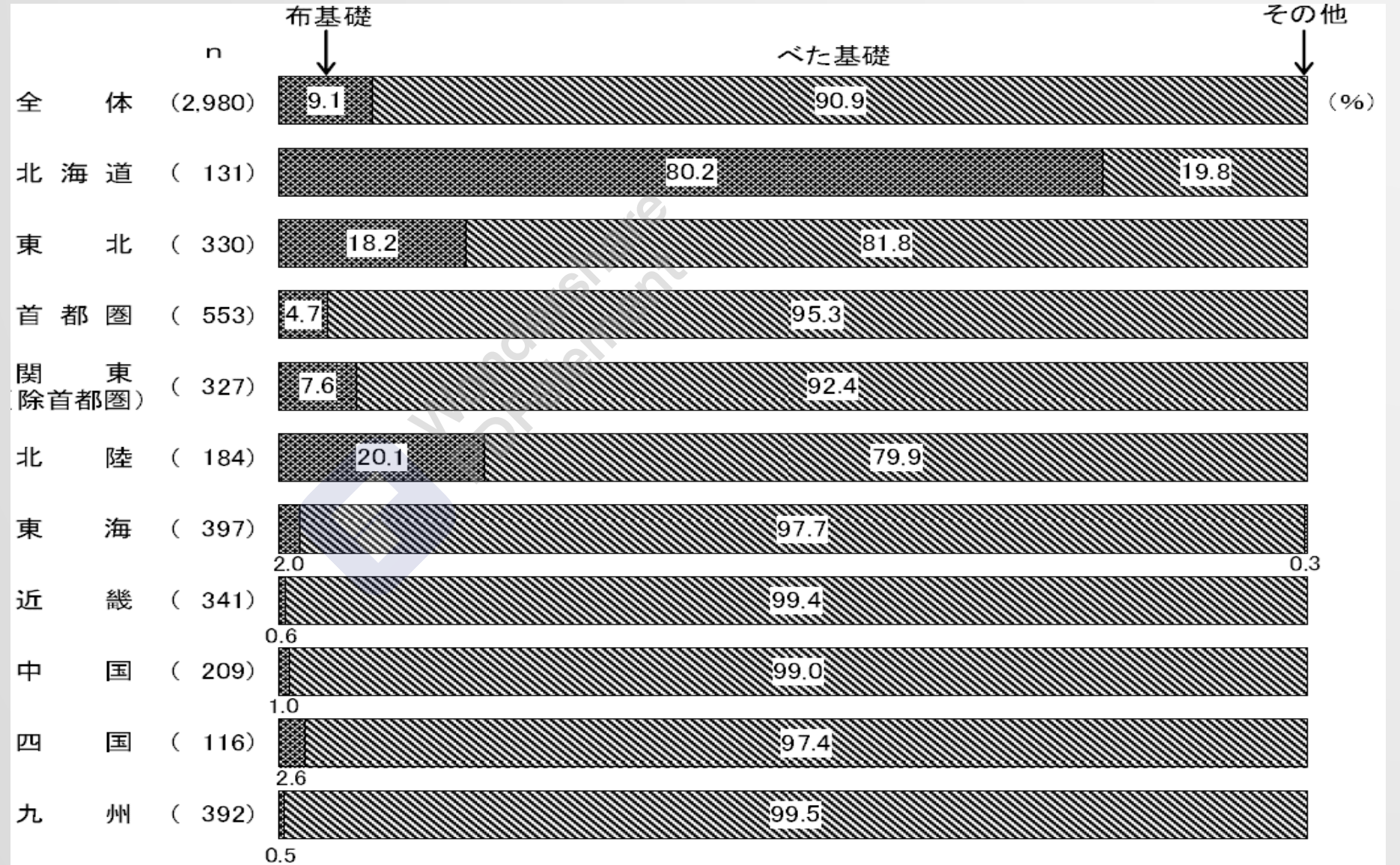
# 基礎工事

## 今やベタ基礎が主流となっている



# 基礎工事

## 地域によっては、ほぼ全数がベタ基礎



# 基礎工事

でも、大手メーカーは布基礎で建てている

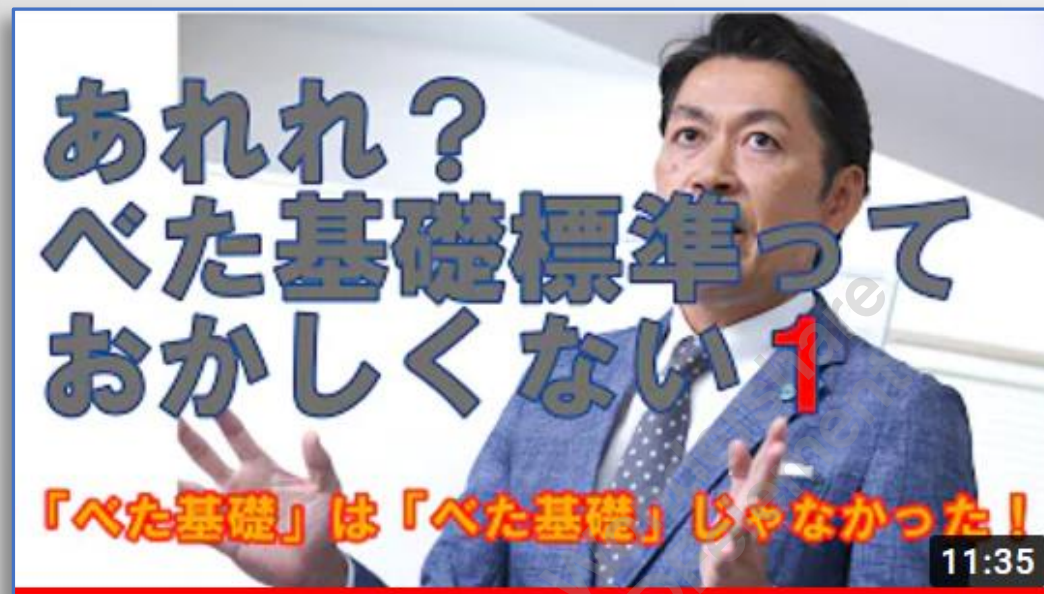


ミサワホーム ↑

SxL →



## ベタ基礎にすれば良いものではない！と…



建設省告示第1347号（平成12年5月23日）  
建築物の基礎の構造方法及び構造計算の基準を定める件

第1 建築基準法施行令（以下「令」という。）第38条第3項に規定する建築物の基礎の構造は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き、地盤の長期に生ずる力に対する許容応力度（改良された地盤にあっては、改良後の許容応力度とする。以下同じ。）が、20kN/m<sup>2</sup>未満の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造と、20kN/m<sup>2</sup>以上30kN/m<sup>2</sup>未満の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造又はべた基礎と、30kN/m<sup>2</sup>以上の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造、べた基礎又は布基礎としなければならない。

	<20kN/m <sup>2</sup>	<30kN/m <sup>2</sup>	30kN/m <sup>2</sup> <
基礎ぐい	○	○	○
べた基礎	×	○	○
布基礎	×	×	○

# 基礎は？

こんな建物で、基礎を考えてみましょう

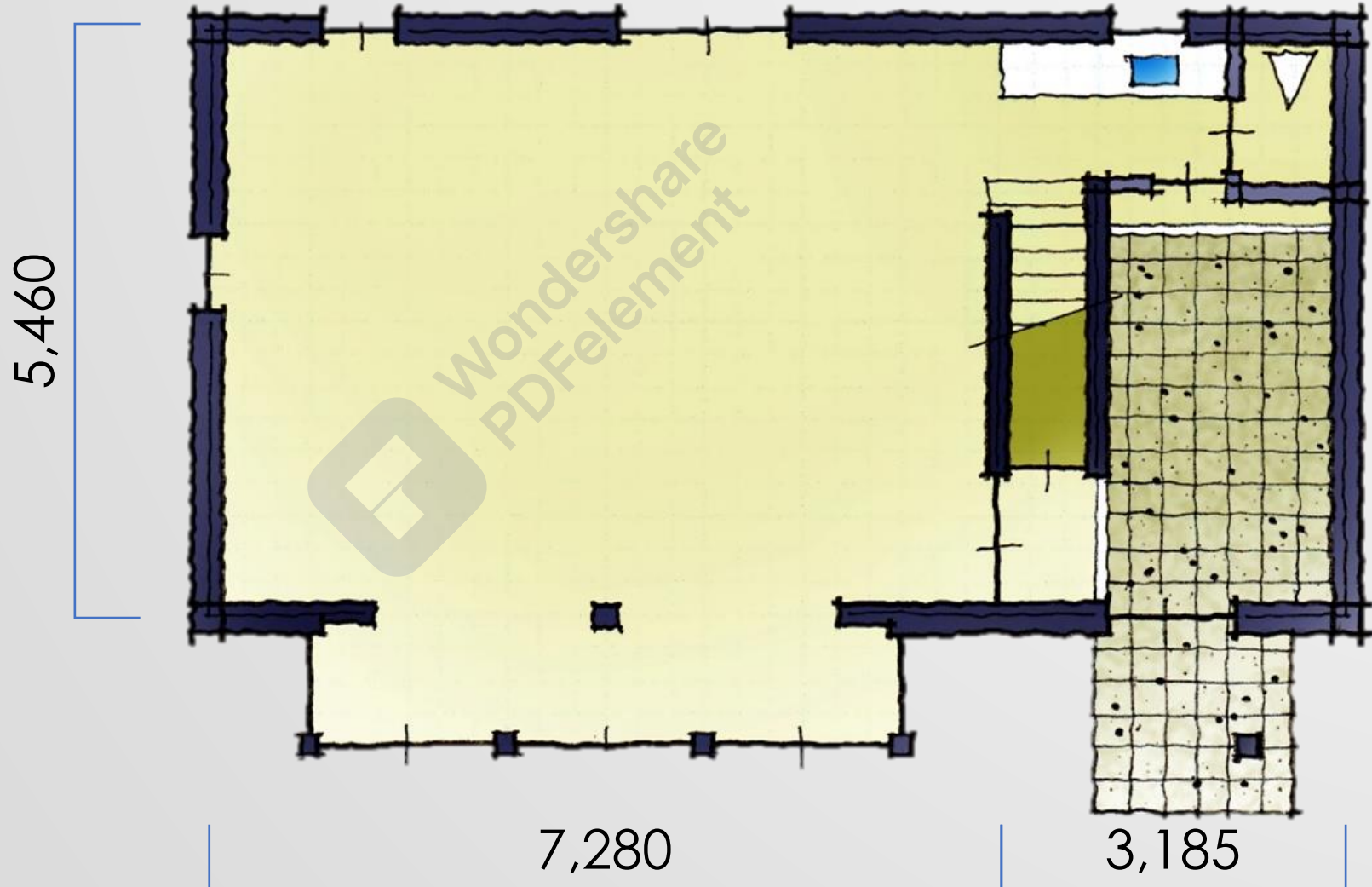


# 基礎は？

こんな建物で、基礎を考えてみましょう

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement

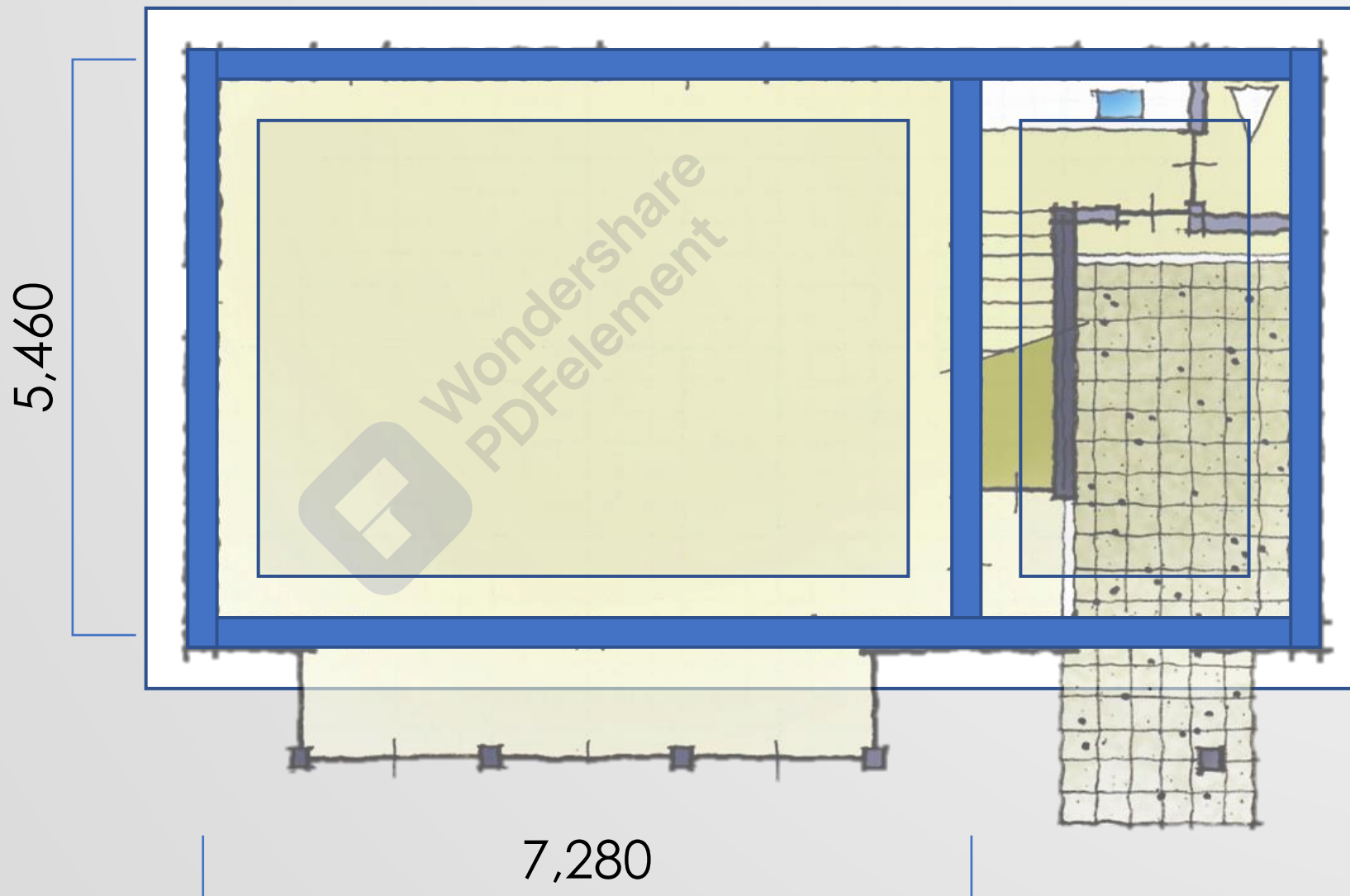


# 布基礎

想定される耐力壁線の下に、基礎があれば良い！

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement

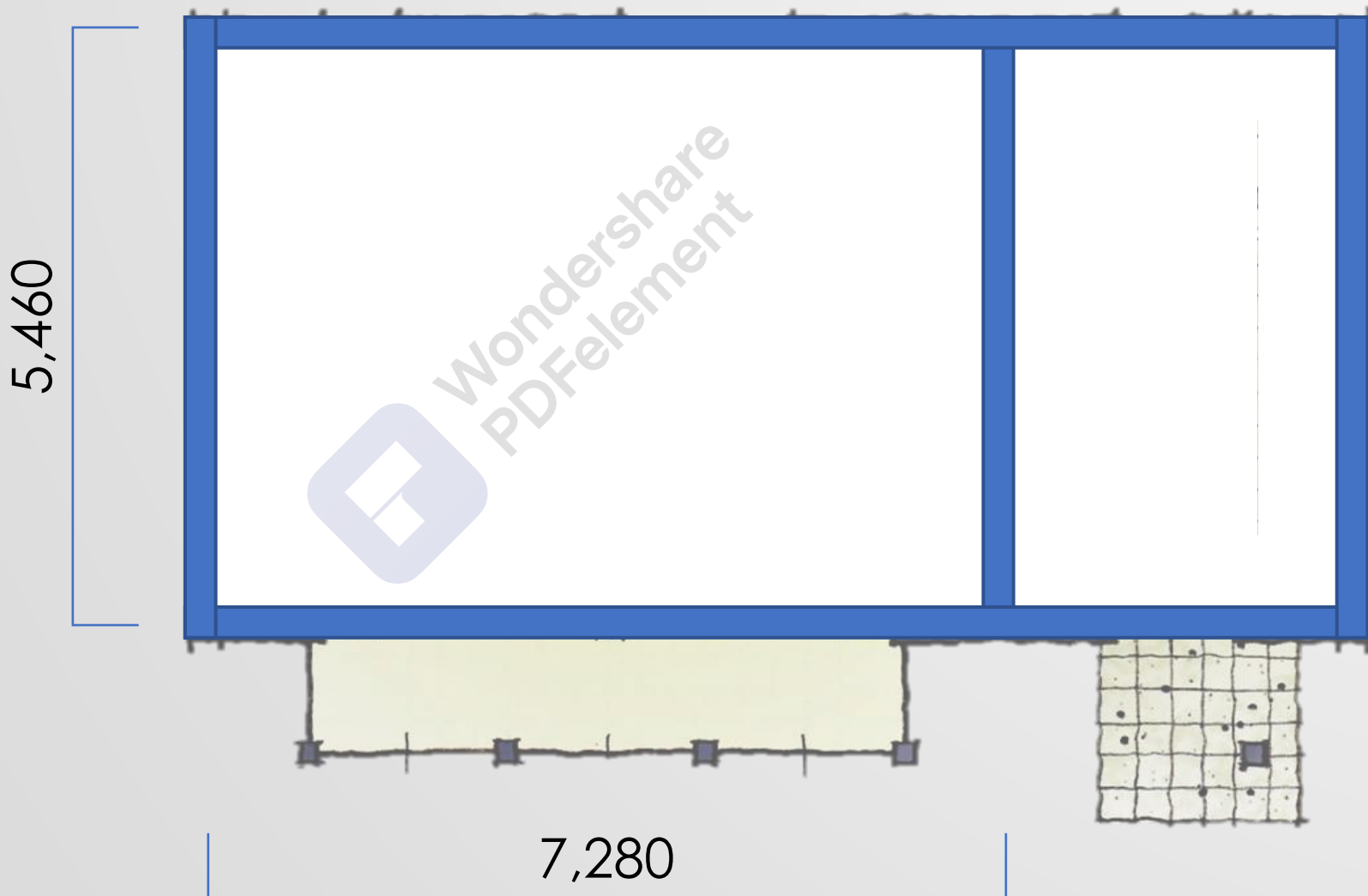




# べた基礎

基礎立上りは同様、中をスラブで作ればべた基礎！

透かしを削除する



# べた基礎

## べた基礎スラブ配筋スパン表(住宅保証機構)

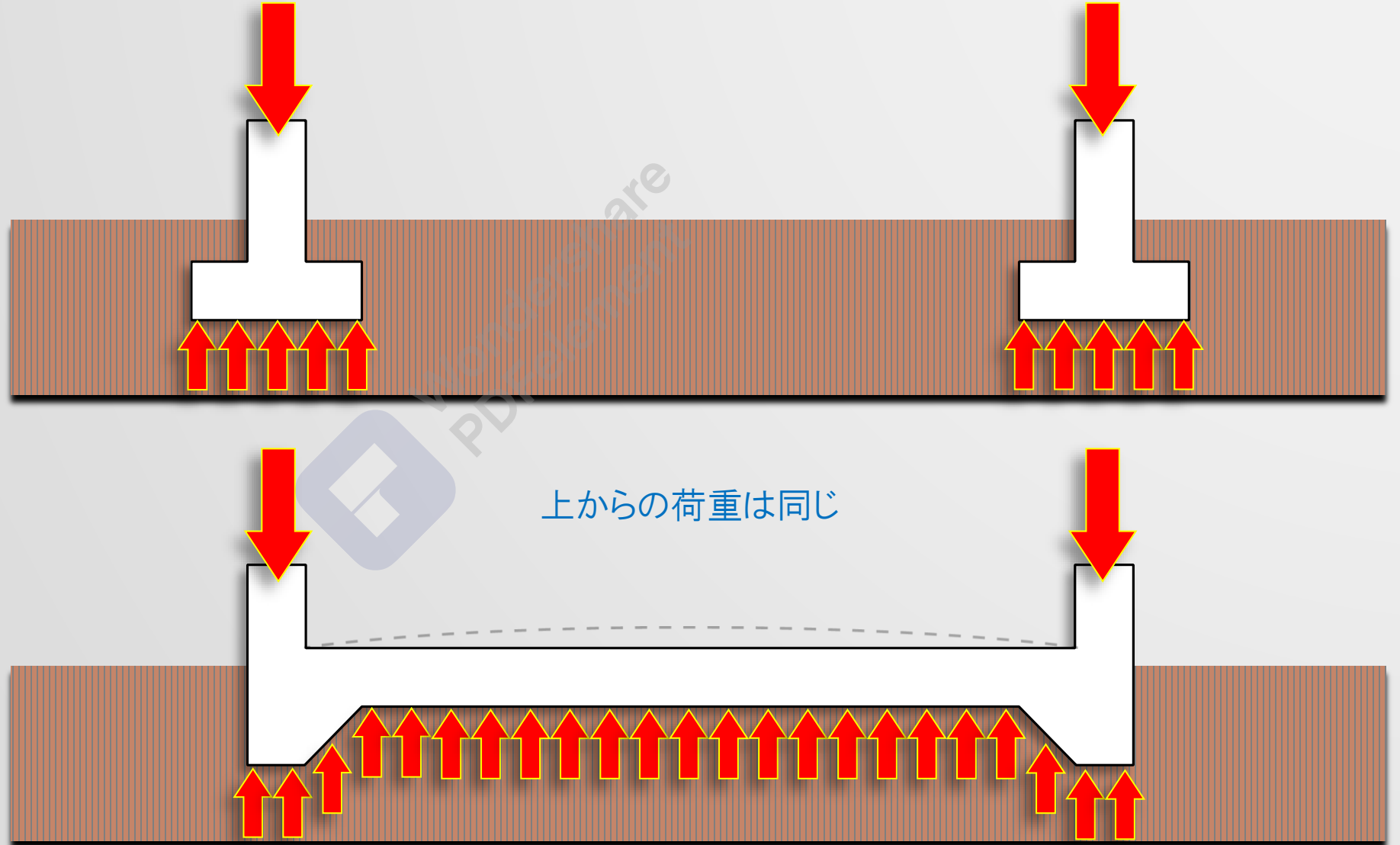
区域	荷重	階数	最大スラブの短辺・長辺の寸法															
			短辺:3m以内				短辺:3m超~4m以内				短辺:4m超~5m以内							
			スラブ厚(mm)	長辺3m以内	スラブ厚(mm)	長辺4.5m以内	スラブ厚(mm)	長辺4m以内	スラブ厚(mm)	長辺5m以内	スラブ厚(mm)	長辺6m以内	スラブ厚(mm)	長辺5m以内	スラブ厚(mm)	長辺6m以内	スラブ厚(mm)	長辺7.5m以内
一般地	軽い住宅	平屋	150	D10@300S D13@300S	150	D10@250S D13@300S	150	D10@225S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@300W D13@175S
		2階	150	D10@300S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@225S	150	D10@100S D13@200S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@250W D13@125S
	重い住宅	平屋	150	D10@300S D13@300S	150	D10@200S D13@300S	150	D10@175S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@100S D13@200S	150	D10@100S D13@200S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@275W D13@125S
		2階	150	D10@225S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@125S D13@225S	150	D10@95S D13@175S	150	D10@80S D13@150S	200	D13@275W D13@125S	200	D13@225W D13@100S	200	D13@175W D13@100S
多雪区域 積雪	軽い住宅	平屋	150	D10@250S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@100S D13@200S	200	D13@300W D13@175S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@200W D13@100S
		2階	150	D10@200S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@100S D13@200S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@200W D13@100S	200	D13@175W D13@100S

短辺:4m超~5m以内					
スラブ厚(mm)	長辺5m以内	スラブ厚(mm)	長辺6m以内	スラブ厚(mm)	長辺7.5m以内
150	D10@125S D13@250S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@275W D13@125S

**べた基礎では、建てられない！** =ベタ基礎は、構造的には弱いと考えられる。

# べた基礎 と布基礎

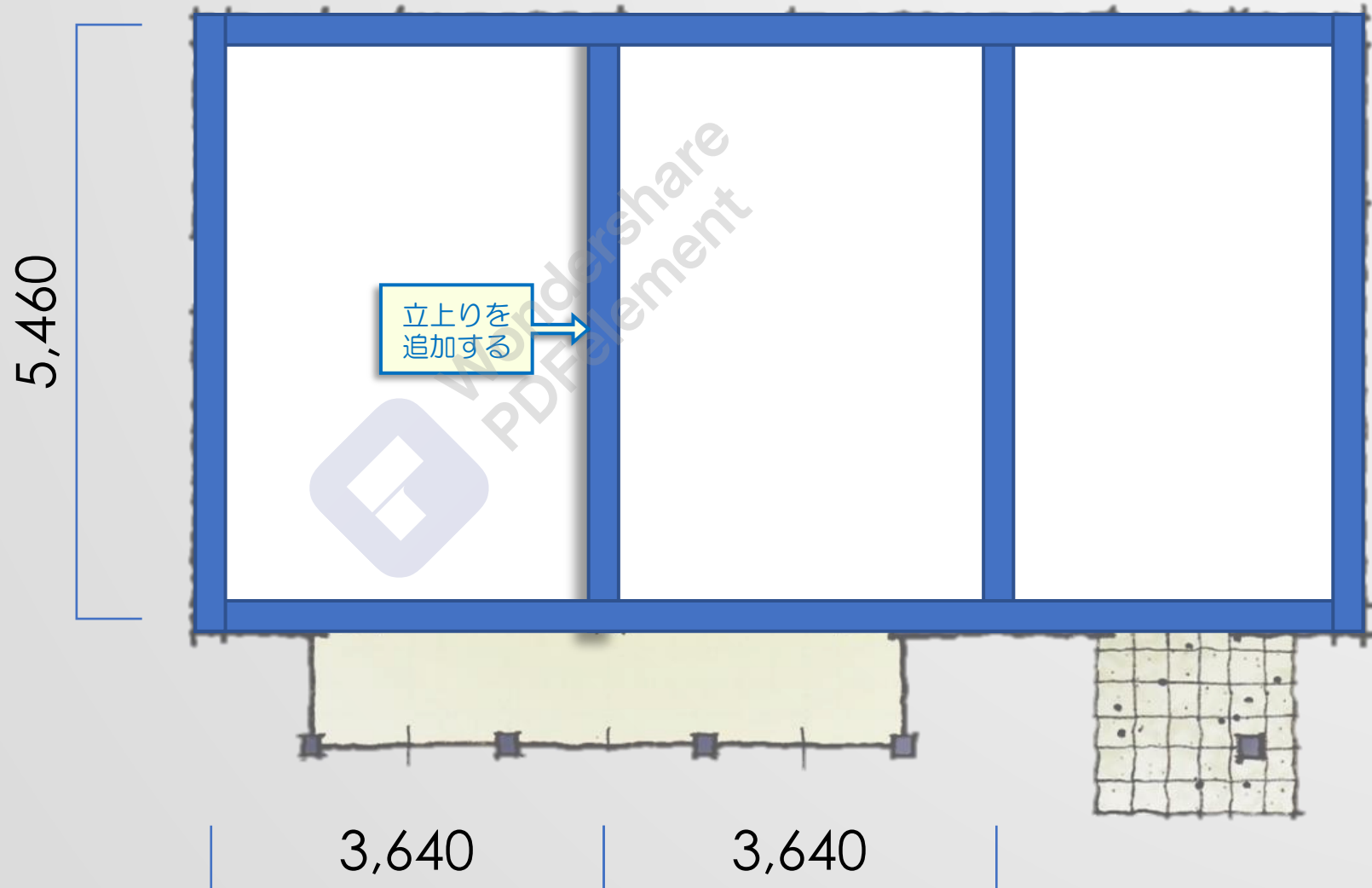
布基礎は上から、べた基礎のスラブは下から考える



上からの荷重は同じ

# べた基礎

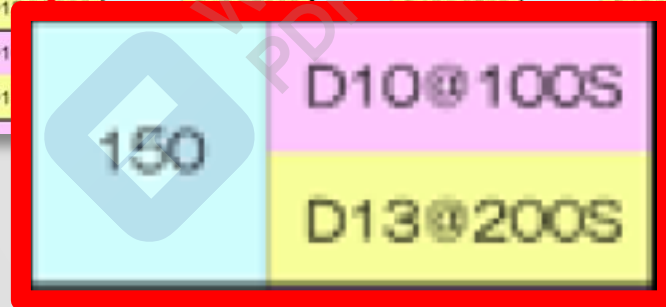
## 中通りに基礎立上り追加してスラブを助ける



# べた基礎

## べた基礎スラブ配筋スパン表(住宅保証機構)

区域	荷重	階数	最大スラブの短辺・長辺の寸法															
			短辺:3m以内				短辺:3m超~4m以内				短辺:4m超~5m以内							
			スラブ厚 (mm)	長辺3m以内	スラブ厚 (mm)	長辺4.5m以内	スラブ厚 (mm)	長辺4m以内	スラブ厚 (mm)	長辺5m以内	スラブ厚 (mm)	長辺6m以内	スラブ厚 (mm)	長辺5m以内	スラブ厚 (mm)	長辺6m以内	スラブ厚 (mm)	長辺7.5m以内
一般地	軽い住宅	平屋	150	D10@300S D13@300S	150	D10@250S D13@300S	150	D10@225S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@300W D13@175S
		2階	150	D10@300S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@225S	150	D10@100S D13@200S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@250W D13@125S
	重い住宅	平屋	150	D10@300S D13@300S	150	D10@200S D13@300S	150	D10@175S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@100S D13@200S	150	D10@100S D13@200S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@275W D13@125S
		2階	150	D10@225S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@125S D13@225S	150	D10@95S D13@175S	150	D10@80S D13@150S	200	D13@275W D13@125S	200	D13@225W D13@100S	200	D13@175W D13@100S
多雪区域 積雪	軽い住宅	平屋	150	D10@250S D13@300S	150	D10@150S D13@300S	150	D10@125S D13@300S	150	D10@100S D13@200S	200	D13@300W D13@175S	200	D13@300W D13@150S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@200W D13@100S
		2階	150	D10@225S D13@300S	150	D10@125S D13@250S	150	D10@125S D13@225S	150	D10@95S D13@175S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@250W D13@125S	200	D13@200W D13@100S	200	D13@175W D13@100S



スラブの配筋はOK!

保証機構が認めれば、それで良いとは限らない!

# 建築士法 改訂

## 令和2年3月1日 建築士法第24条にて保存義務

### 改正の概要

全ての建築物について、配置図、各階平面図、二面以上の立面図、二面以上の断面図、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、構造計算書等(※)、工事監理報告書の保存を義務づけることとしました。

(※) 構造計算書等とは、

[1] 保有水平耐力計算、限界耐力計算、許容応力度等計算などの構造計算書

[2] 仕様規定の適用除外のただし書で必要な構造計算、燃えしろ設計に係る構造計算等の構造の安全性を確認するために行った構造計算の計算書

[3] 壁量計算、四分割法の計算、N値計算に係る図書

	左記以外の場合	
設計が建築基準法第6条第1項第2号又は第3号に係る図書である場合	建築士でなければならない設計又は工事監理に係る図書である場合	左記以外の場合(100 m <sup>2</sup> 以下の2階建て木造の建築物等の設計又は工事監理に係る図書である場合)
保存図書の追加 ・構造計算書等の一部(上記[2]及び[3])	保存図書の追加 ・基礎伏図 ・各階床伏図 ・小屋伏図 ・構造詳細図 ・構造計算書等(上記[1]、[2]及び[3])	新規義務付け ・ <u>上記下線部</u> の全ての図書

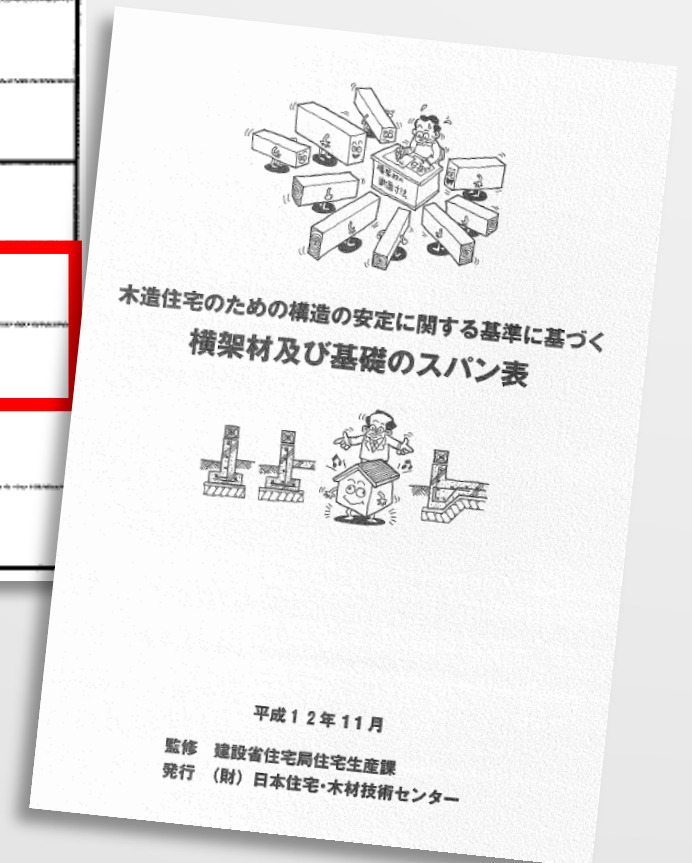
保存期間15年間。

昨年から、図面に情報が求められ、根拠がないと危ない！

# べた基礎

## すべての検査機関で通じる基礎スパン表(住木センター)

上部荷重 (kN/m <sup>2</sup> )	短辺方向 スラブスパン (m)	短辺及び長辺方向 スラブの配筋 *2 (mm)
平屋建 *1 4.00	2.73以下	D10@200S
	2.73を超え3.64以下	D10@150S
	3.64を超え4.55以下	D13@200S
2階建 *1 7.50	2.73以下	D10@150S
	2.73を超え3.64以下	D13@150S
		D13@200D
	3.64を超え4.55以下	D13@100S
		D13@150D



構造計算しない場合の有力根拠

# べた基礎

基礎立上りにも補強が必要となる。

上部荷重 (kN/m <sup>2</sup> )	立上り高さ (cm)	短辺方向 スラブスパン (m)	開口部直下の補強筋 W：開口幅					
			建物外周			建物内部 <b>5.46m</b>		
			W：1.82m	W：2.73m	W：3.64m	W：1.82m	W：2.73m	W：3.64m
平屋建 *1 4.00	30	2.73以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D13
		2.73を超え3.64以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D16
		3.64を超え4.55以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D19
	40	2.73以下	補強筋なし	補強筋なし	補強筋なし	補強筋なし	補強筋なし	1-D13
		2.73を超え3.64以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D13
		3.64を超え4.55以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D16
2階建 *1 7.50	30	2.73以下	補強筋なし	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D19
		2.73を超え3.64以下	補強筋なし	1-D13	1-D13	1-D13	1-D16	※
		3.64を超え4.55以下	補強筋なし	1-D13	1-D16	1-D13	1-D19	※
	40	2.73以下	補強筋なし	補強筋なし	1-D13	補強筋なし	1-D13	1-D16
		2.73を超え3.64以下	補強筋なし	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D19
		3.64を超え4.55以下	補強筋なし	1-D13	1-D13	1-D13	1-D16	※

※別途構造計算により検討が必要

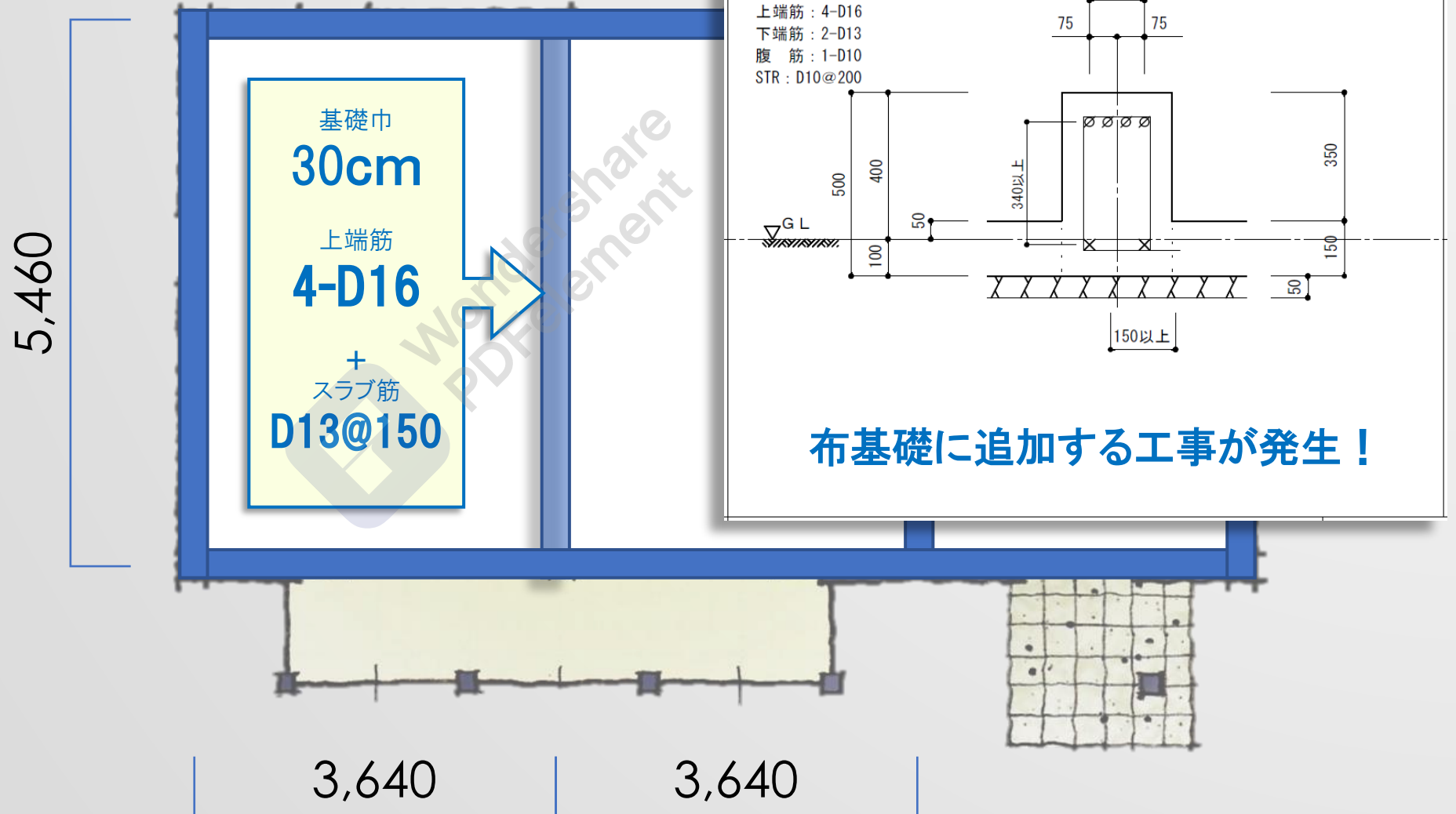
べた基礎は、構造計算をもとめられる！

=ベタ基礎は、構造的には弱い



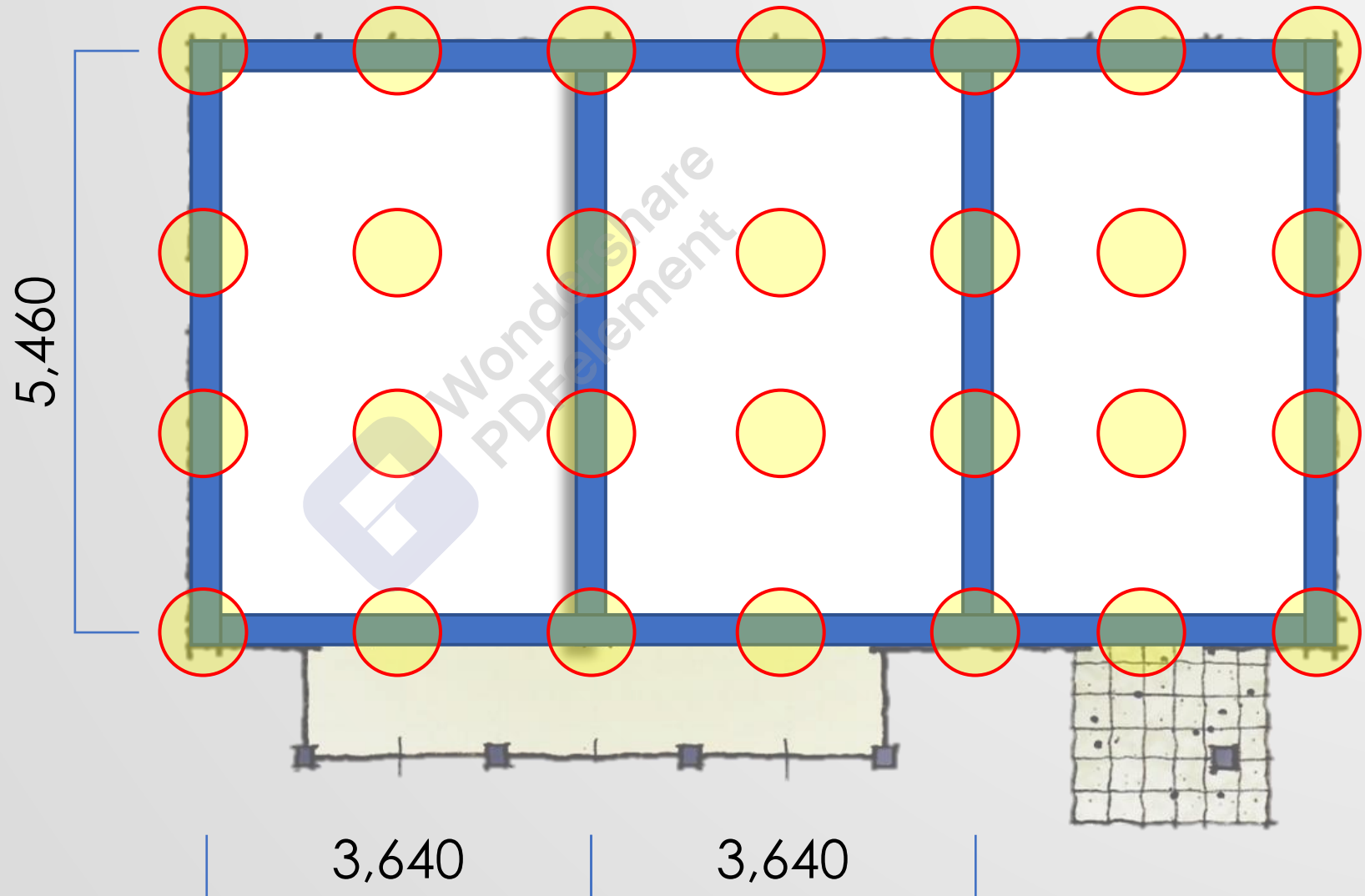
# べた基礎

## 中通り立上りを、構造計算すると・・・



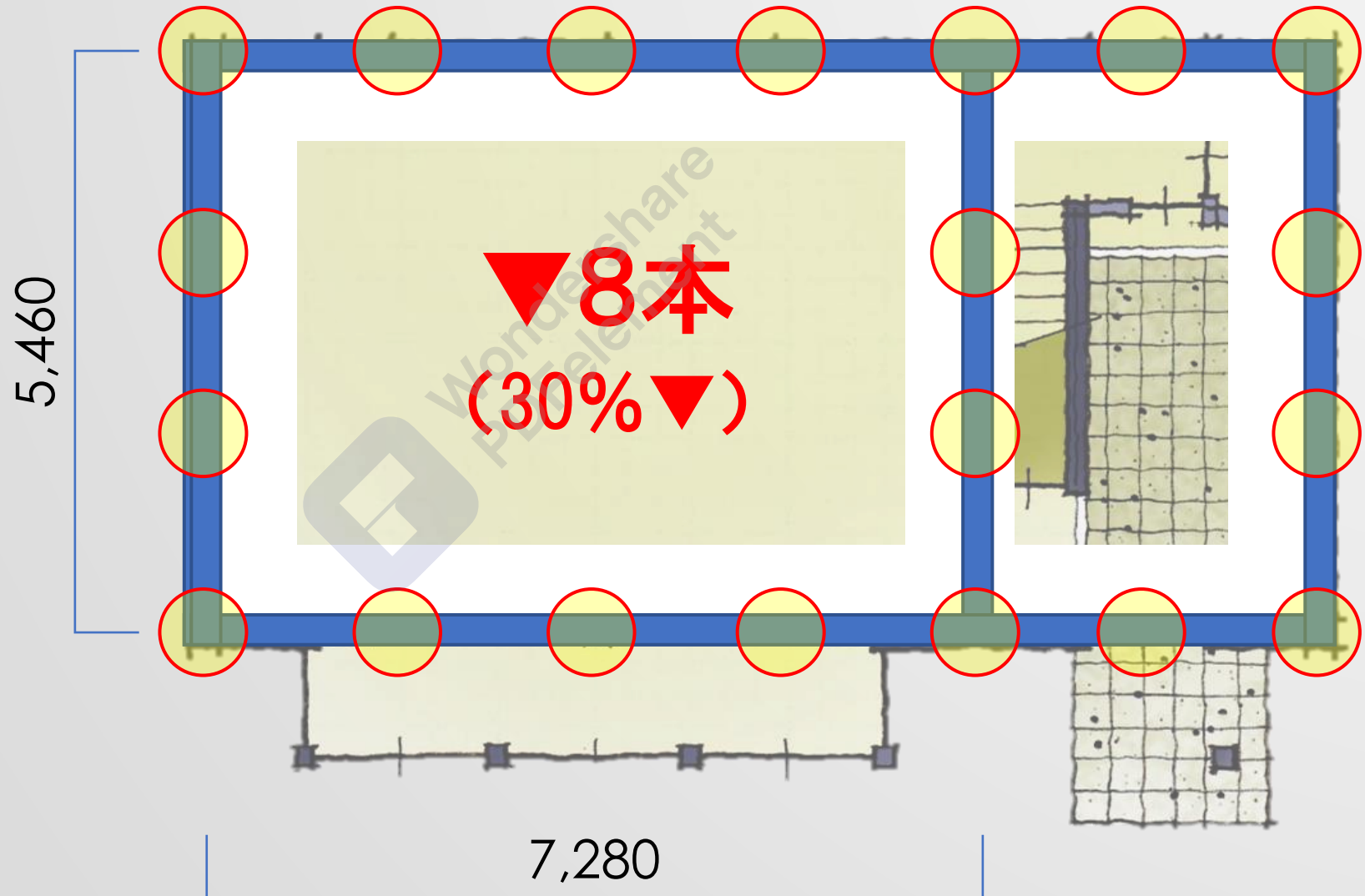
# べた基礎

さらに、くい工事を行う場合にも不利になる。



# 布基礎

布基礎にすれば、くい本数も減らすことができる



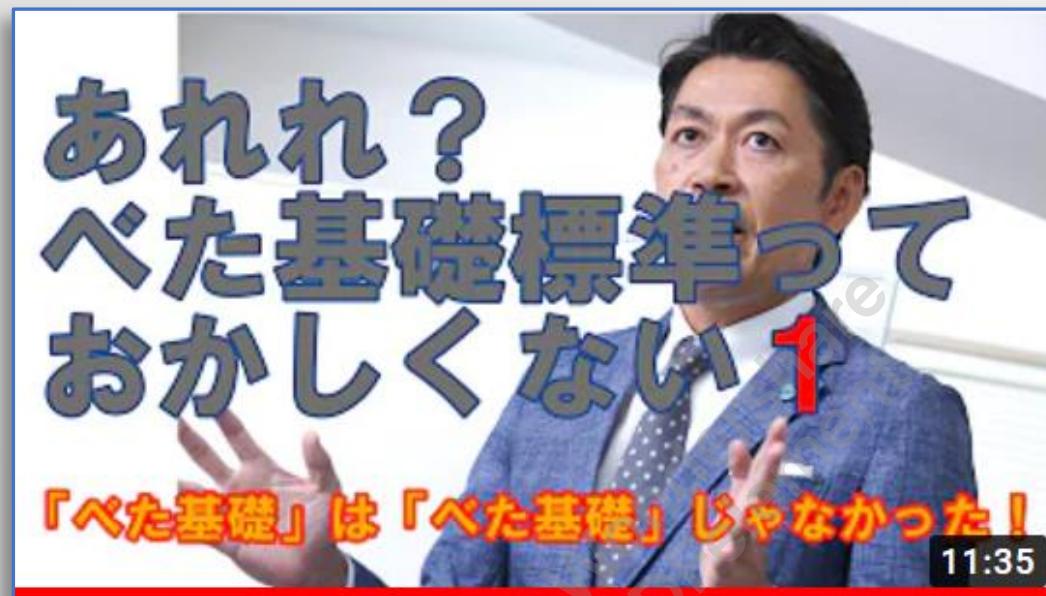
# べた基礎

基礎上の建物はまったく変わっていないのに・・・



地盤や建物の状況で基礎も大きく変わる

## ベタ基礎にすれば良いものではない！と…



### 建設省告示第1347号（平成12年5月23日）

建築物の基礎の構造方法及び構造計算の基準を定める件

第1 建築基準法施行令（以下「令」という。）第38条第3項に規定する建築物の基礎の構造は、次の各号のいずれかに該当する場合を除き、地盤の長期に生ずる力に対する許容応力度（改良された地盤にあっては、改良後の許容応力度とする。以下同じ。）が、**20kN/m<sup>2</sup>未満の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造と、20kN/m<sup>2</sup>以上30kN/m<sup>2</sup>未満の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造又はベタ基礎と、30kN/m<sup>2</sup>以上の場合にあっては基礎ぐいを用いた構造、ベタ基礎又は布基礎としなければならない。**

	<20kN/m <sup>2</sup>	<30kN/m <sup>2</sup>	30kN/m <sup>2</sup> <
基礎ぐい	○	○	○
ベタ基礎	×	○	×
布基礎	○	△	○

# 布基礎

大スパン設計となる建物には布基礎が向いている



保育園・養護施設の受注には、布基礎ができるように…

## 布基礎・べた基礎を共通部材で施工できる基礎



新基礎工法「eLbase」を開発しました！

# スケルトン

本当に構造的に可能で、問題がないのか？

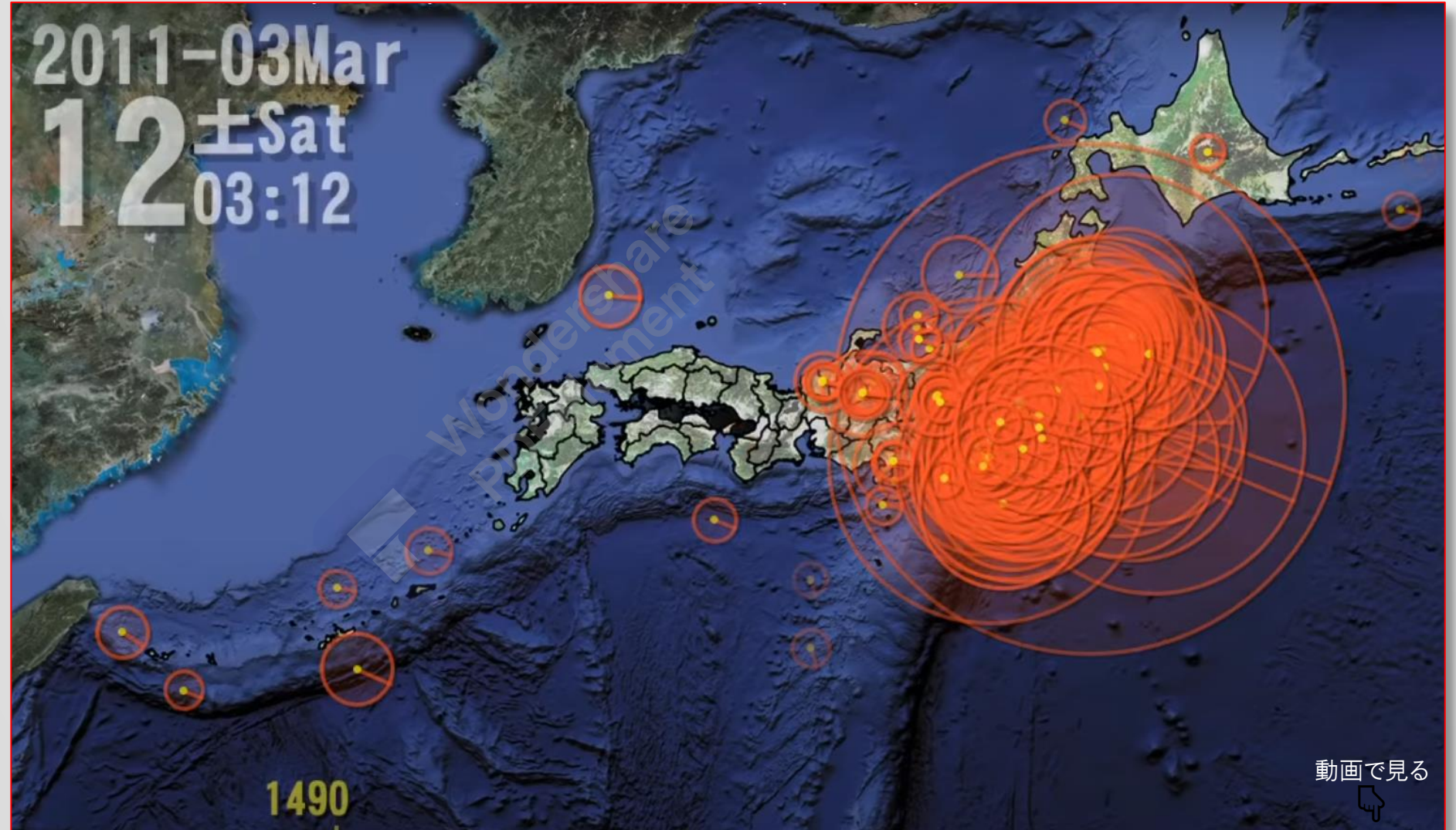


木造で建てられて、地震に対しても大丈夫なのか？



# 地震列島

スケルトンができてても、日本には地震が頻発する！

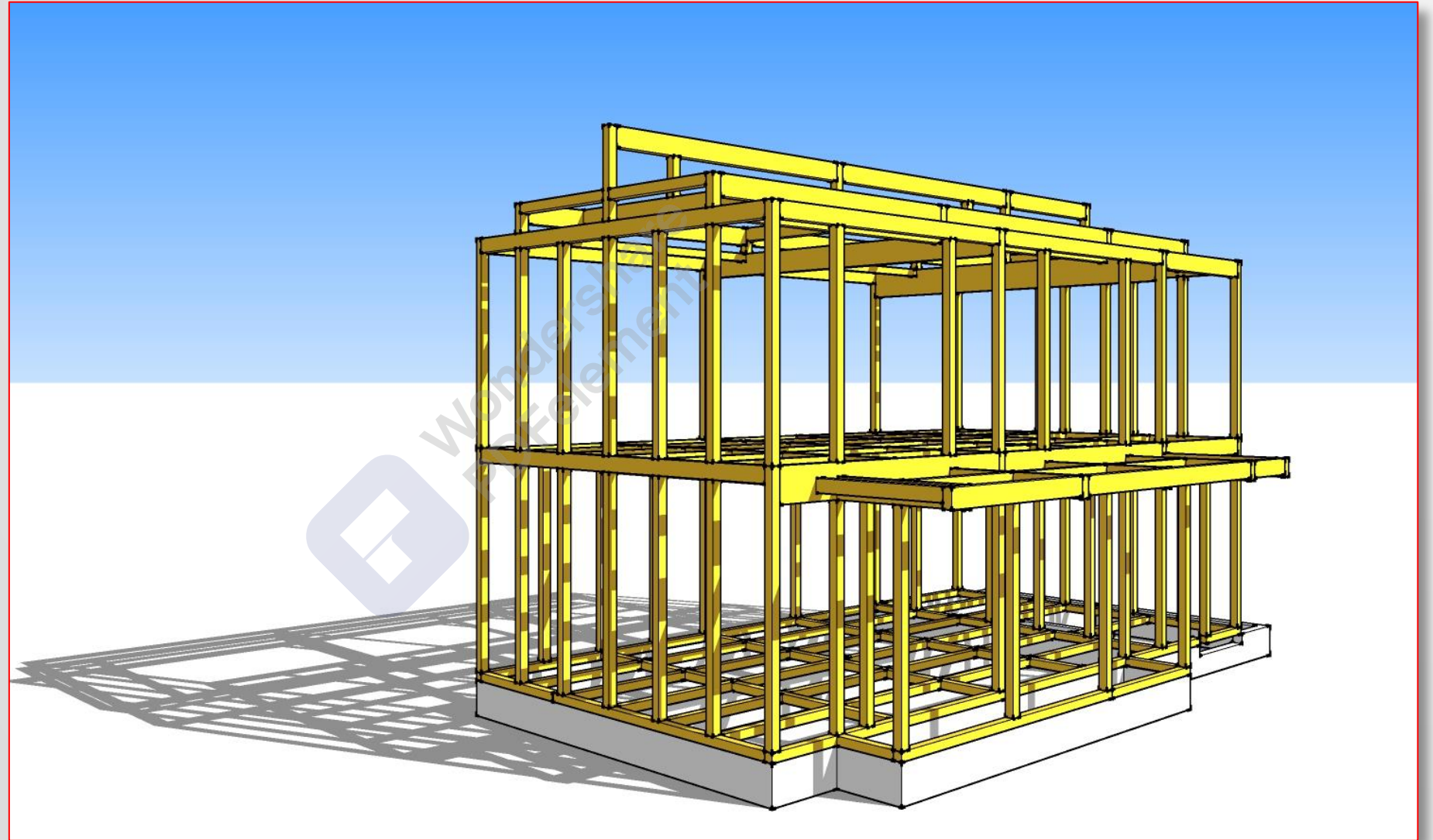


耐震設計も達成していないと家にはならない



# スケルトン

一般的な流通材であれば、6m材まで単価の大差はない。



6m材(EW:E175)を使えば、逆に材積は減らせる

# スケルトン

古民家の多くも、最大3間で造られている。

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



主柱と大梁・小梁がしっかり計画された建築

真壁工法

# 耐力壁

## 壁倍率5.9倍の真壁耐力壁を活用する



No.0298-240

### 認定書

国住指第1421号  
平成21年10月13日

東京合板工業組合  
理事長 井上 篤博 様  
東北合板工業組合  
理事長 井上 篤博 様

**5.9倍**

下記の構造方法等については、建築基準法において準用する場合を含む。)の規定に適合するものであることを認め

1. 目的  
2. 構造の概要  
3. 構造の仕様  
4. 構造の耐力

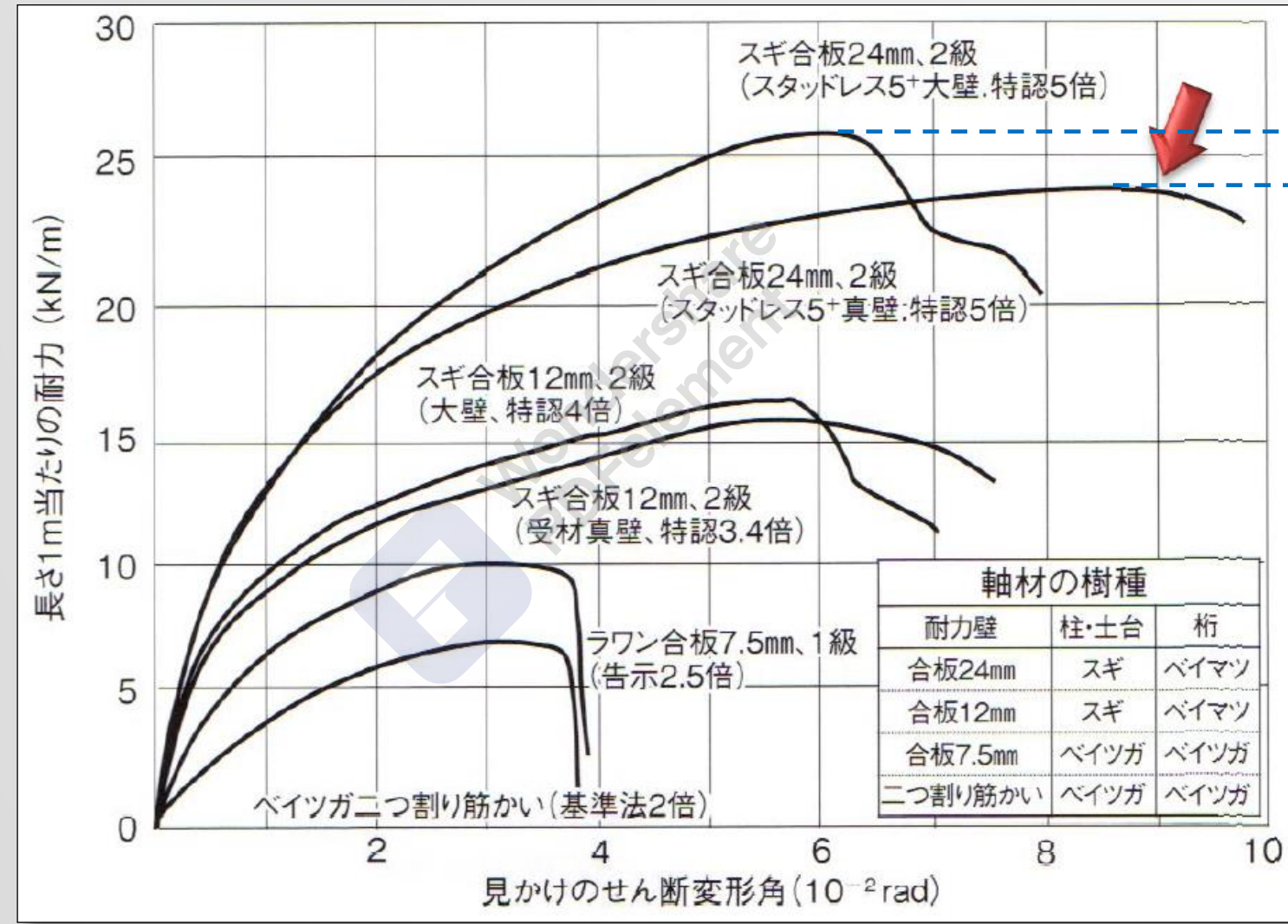
項目	仕様	耐力係数(%)			
		縦	横	斜	角
24mm合板	1.2倍	100	100	100	100
	2.4倍	100	100	100	100
12mm合板	1.2倍	100	100	100	100
	2.4倍	100	100	100	100

図1 耐力壁の構造断面図  
図2 耐力壁の構造断面図  
図3 耐力壁の構造断面図

## 24mm合板は、12mm合板よりもよく使われている

# 耐力壁

## 真壁の耐震には、隠れた強度がある



↑  
構造計算用の数値は、大壁に比べ小さいのですが、限界点による急激な強度の低下が無いので、何度も訪れる地震にも、しっかりと耐力を発揮します。

強度上は低いが、粘りがあって壊れにくい

# 耐力壁

外壁 & 内壁に設置でき、バランスを取るのに最適



筋交いの3分の1で済み、外周壁に面材は要らない

# 耐震性

## ウォールスタットでも検証してみる

透かしを削除する

The screenshot displays a software interface for structural analysis. The main window shows a grid-based layout of a wall system with columns and beams. A red 'X' is placed on the grid. The interface includes a menu bar (ファイル, 編集, 設定, 表示, ヘルプ), a toolbar with options like '表示' (display) and '階数' (number of floors), and a '仕様選択' (specification selection) panel on the left. The '仕様選択' panel lists various wall types, with 'FRM-0298(ネダノン真壁) 5.9倍' selected. The main window also features a '配置' (configuration) panel with radio buttons for '柱' (column), '壁1' (wall 1), '水平構面1' (horizontal surface 1), '制振壁' (damping wall), '構架材' (framework material), '壁2' (wall 2), '水平構面2' (horizontal surface 2), '寸法線' (dimension line), '筋かい' (stiffener), '壁3' (wall 3), and '基準線' (reference line). A 'スナップ' (snap) panel has 'グリッド' (grid) and '基準線' (reference line) checked. A '壁量計算' (wall quantity calculation) window is open on the right, showing calculation results for 46 items. The results include short-term allowable shear capacity (kN) and seismic force (kN) for 1st and 2nd floors in X and Y directions, eccentricity ratios, and weights (W1, W2). The calculation area is also shown.

項目	値	単位
1F X方向	88.508	40.000 = 2.213
1F Y方向	84.448	40.000 = 2.111
2F X方向	42.224	24.085 = 1.753
2F Y方向	52.780	24.085 = 2.191

項目	値	単位
1F X方向	0.009	
1F Y方向	0.017	
2F X方向	0.000	
2F Y方向	0.077	

項目	値	単位
W1	100.000	
W2	100.000	

項目	値	単位
1F	67.904	m2
2F	57.139	m2

XY方向どちらも、8枚の耐力壁で充分

# 耐震性

## ウォールスタットで検証してみる

The screenshot displays the 'WallStat' software interface with several key elements circled in red:

- Top Panel:** '令46条 品確法 耐震診断 許容耐力' (Article 46, Performance-based Seismic Diagnosis, Allowable Capacity).
- Parameters:**
  - 地域係数 (Regional Coefficient): 1.0
  - 耐震等級 (Seismic Grade): 等級3 (Grade 3)
  - 設定値 (Setting): D:\OneDrive\★住まい
  - 建物仕様 (Building Type): 軽い建物 (Light Building)
- Results - Performance-based (品確法):**
  - 壁量計算結果 (Wall Quantity Calculation Results):
 

Direction	Existing Wall (m)	Required Wall (m)	Ratio
1層X方向	38.150	33.180	1.150
1層Y方向	36.400	33.180	1.097
2層X方向	18.200	17.387	1.047
2層Y方向	22.750	17.387	1.308
  - 短期許容せん断耐力 (kN) / 地震力 (kN) (Short-term Allowable Shear Capacity / Seismic Force):
 

Direction	Capacity (kN)	Force (kN)	Ratio
1層X方向	88.508	40.000	2.213
1層Y方向	84.448	40.000	2.111
2層X方向	42.224	24.085	1.753
2層Y方向	52.780	24.085	2.191
  - 耐震要素の偏心率 (Eccentricity of Seismic Elements):
 

Direction	Eccentricity
1層X方向	0.002
1層Y方向	0.023
2層X方向	0.000
2層Y方向	0.077
- Bottom Panel:** '令46条 品確法' (Article 46, Performance-based) and another '壁量計算結果' (Wall Quantity Calculation Results) section:
 

Direction	Existing Wall (m)	Required Wall (m)	Ratio
1層X方向	38.150	19.692	1.937
1層Y方向	36.400	19.692	1.848
2層X方向	18.200	8.571	2.123
2層Y方向	22.750	8.571	2.654

## 令46条、品確法等級3、許容応力度計算での壁量

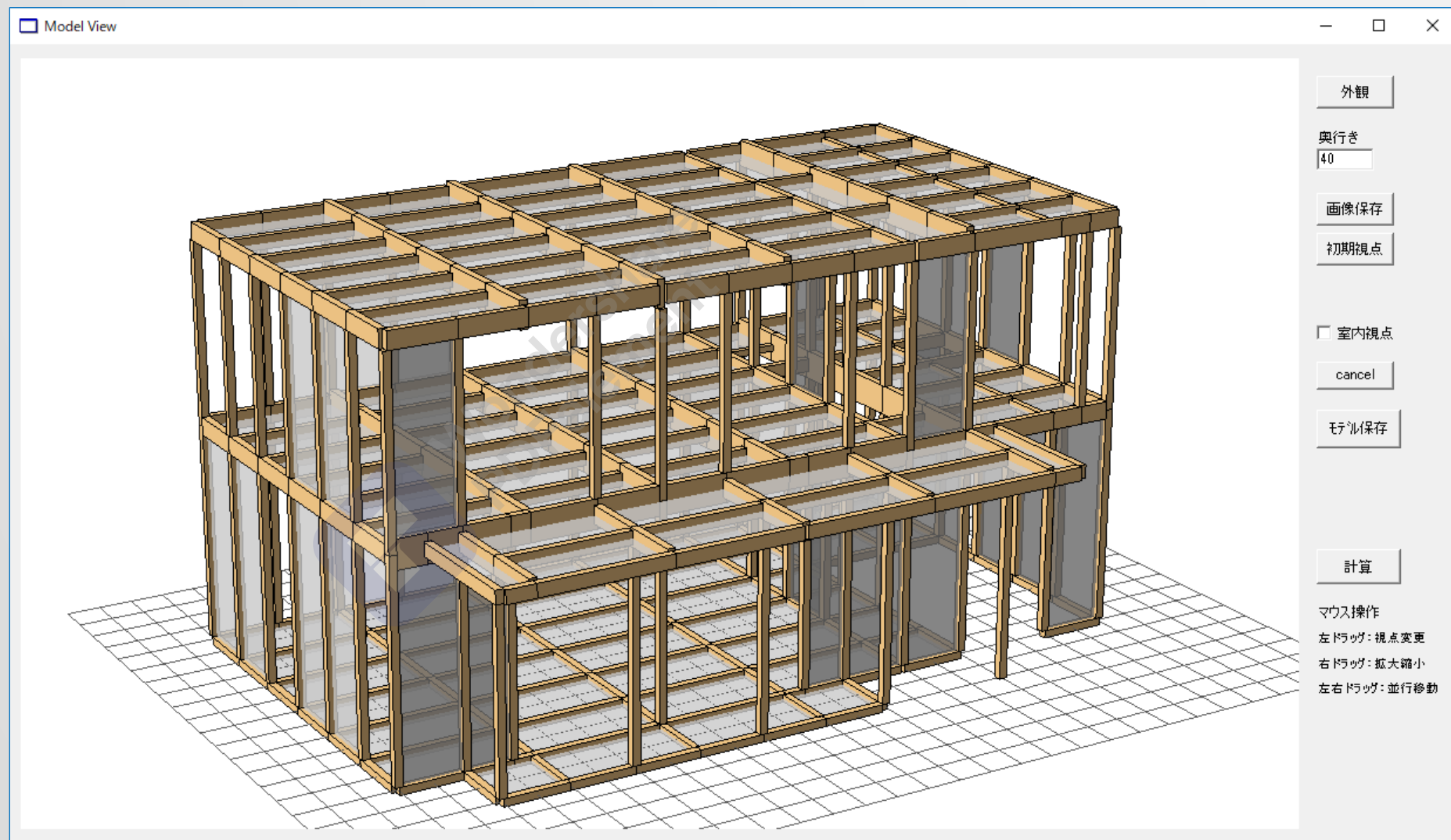


# 耐震性

## ウォールスタットで検証してみる

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



極稀地震でも、倒壊しないことを確認しています

# 耐震研修

## 耐震等級3は、全棟標準化するのは簡単！

### 耐震住宅への強化研修

一般社団法人  
住まい文化研究会

熊本地震以降、新築住宅の耐震化は必須になってきました。  
耐震設計は誰にも難しく、それなりにコストもかかります。  
FC加盟や特殊部材を使わなくても、この強化研修の知恵を使えば、  
あっという間に耐震等級3をクリアして受注体制を強化できます。

ノウハウ  
満載

木造住宅

耐震等級を上げて、  
建築コストダウン。  
夢のような工法が、  
貴社の武器になる。

- ⇒ 貴社の住宅で耐震等級3を標準化！
- ⇒ 営業設計でも耐震チェックができる！
- ⇒ 設計・工法・仕様・施工、多段階でコスト削減！
- ⇒ 設計の自由度が上がり、顧客満足アップ！

目から  
鱗

耐震って  
簡単！

設計に  
使える

すぐに  
使える

営業職も  
わかる

## 耐震性能を上げるのには、コストはかからない？

# 耐震性

## 耐震等級3で建物の変形量を抑えることは・・・

### 感震ブレーカー 設置促す

#### 大地震の電気火災対策

政府は9日、大規模地震対策を協議する有識者検討会を東京都内で開き、木造住宅の密集地で建物を新築する際、地震の揺れを感知して電力供給を止める「感震ブレーカー」を設置するよう促す報告書をまとめた。東日本大震災で、漏電などが原因で起きる電気火災が多発した教訓を踏まえ、今後発生が予想される首都直下地震や南海トラフ巨大地震への備えとして考えたい。

**政府の有識者検討会**

感震ブレーカーは、揺れを感じし自動的に落ちて電力供給を止める。失火の可能性のある箇所に遮断部分を限定できるコンセントタイプもある。報告書は、業界団体「日本電気協会」が作る電気工事の規定を見直し、「震度5強」以上で作動する感震ブレーカー設置を求める地域

首都直下地震の想定地域(約32万戸)	埼玉、千葉、東京、神奈川の4都県の一部
南海トラフ巨大地震の想定地域(約34万戸)	神奈川、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山、徳島、香川、愛媛、高知、大分の12府県の一部
その他の危険な密集市街地	長崎、沖縄両県の一部

種類	仕組み	特徴
分電盤タイプ	分電盤の内蔵センサーが揺れを感知し、ブレーカーを落とす	全体の電力供給を止める。電気工事が必要
簡易タイプ	ブレーカーに重りを付け、地震の揺れで重りが落ちる仕組みを利用し、ブレーカーを落とす	全体の電力供給を止める。電気工事は不要
コンセントタイプ	内蔵センサーが揺れを感知し、電力供給を遮断	当該コンセントだけ電力供給を止める

主な感震ブレーカーの種類と仕組み

対象は、首都直下地震や提供を行うよう要請した。住宅でも設置が広がるよう、自治体や業者に広報や情報提供を行うよう要請した。

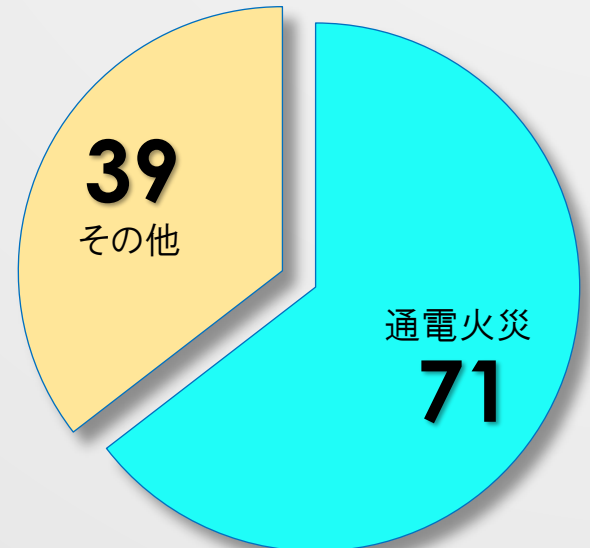
する感震ブレーカーの設置を電気工事業者に勧告するよう求めた。また、既存の住宅でも設置が広がるよう、自治体や業者に広報や情報提供を行うよう要請した。

南海トラフ巨大地震など大規模地震時に著しく危険な密集市街地とされる17都府県の一部地域(計5745世帯)。早ければ2015年度中のスタートを目指す。

東日本大震災では、地震による火災110件中、電気が原因だったものが71件(約65%)に上った。地震で電気ストープが倒れ、火がつくケースなどがあった。しかし、認知不足や数万円かかる工事費の負担が影響し、普及は限定的だ。報告書は電気工事業者への勧告要請にとどまり、家主らが拒否して業者が設置を見送っても罰則は設けない方向だ。

検討会座長の関沢愛・東京理科大学教授は、記者団に、「木造密集市街地では、建て替えや初期消火といった対策もあるが、感震ブレーカーは高い効果を期待できる」と述べた。

東日本大震災  
地震による火災  
110件



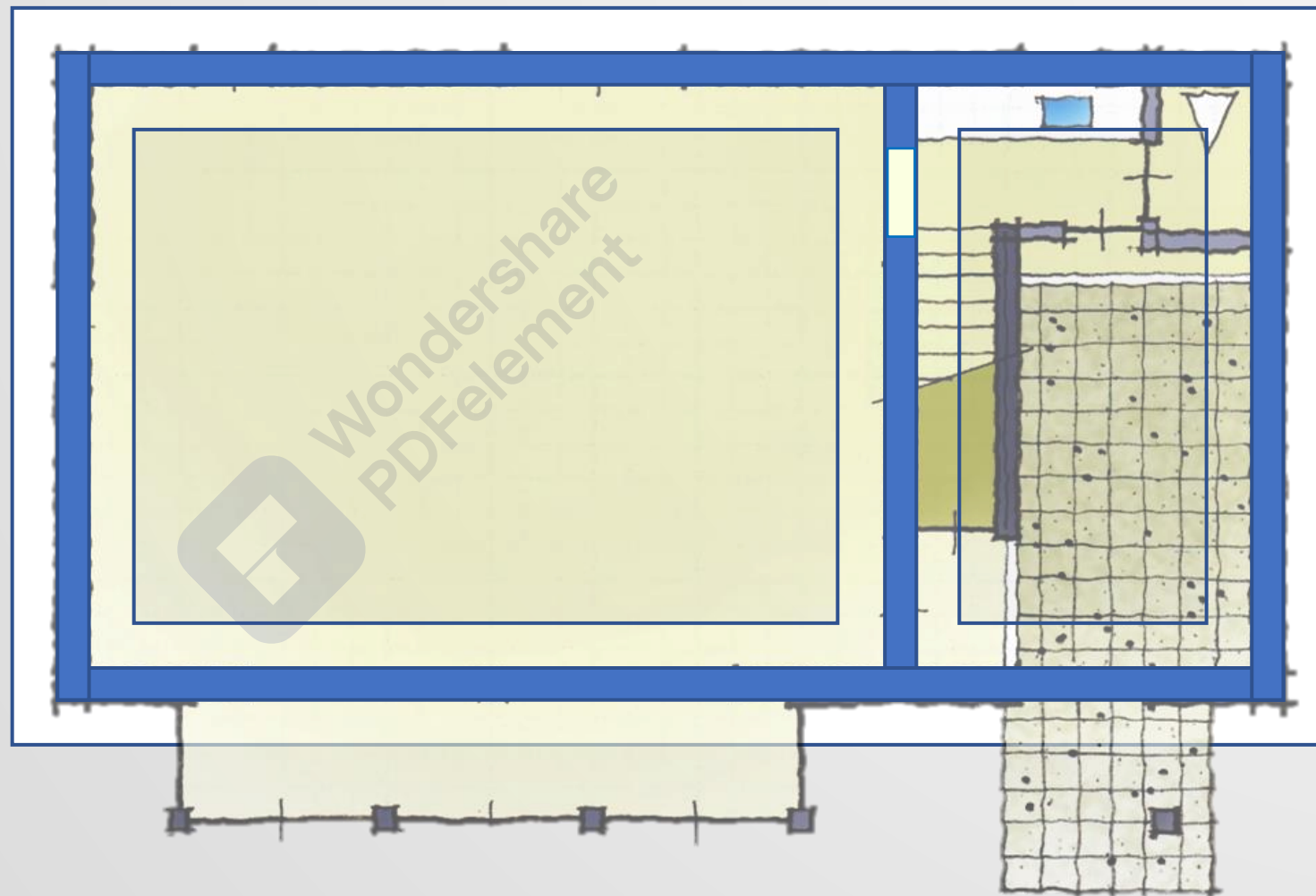
家中に電線が張り巡らされた今の家は、極力、変形しないように

# 布基礎

基礎空間は空調やエアコンにも役に立つ

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



複雑な基礎では、空気の流れにも淀みが生じる

## 新基礎工法では、型枠が断熱材



### ④ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材

表1 基準に適合する断熱材の厚さ<軸組構法>充填断熱工法

部位		地域区分							
		1	2	3	4	5	6	7	8
屋根 または天井	屋根	EPS1 225mm		EPS1 160mm					
	天井	EPS1 195mm		EPS1 140mm					
壁		EPS1 115mm		EPS1 75mm				—	
床	外気に接する部分	EPS1 180mm または EPS4 215mm			EPS1 115mm または EPS4 135mm			—	
	その他の部分	EPS1 115mm または EPS4 135mm			EPS1 75mm または EPS4 90mm			—	
土間床 等の外 周部	外気に接する部分	EPS1 120mm		EPS1 60mm		—			
	その他の部分	EPS1 45mm		EPS1 20mm		—			

省エネ基準では、仕様規定で面積計算なしにクリア！

# 空調

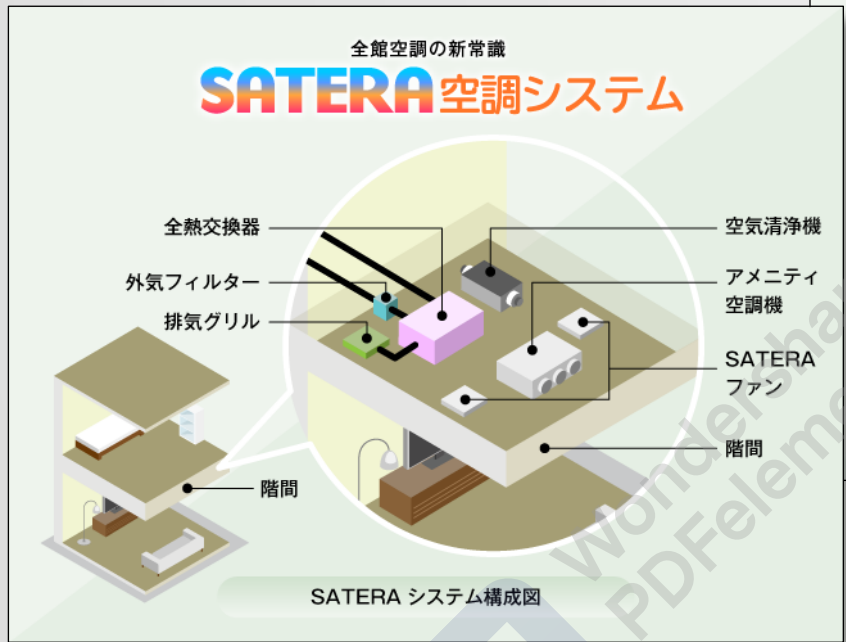
## 床下を利用したエアコンを採用することもできます



## 基礎空間を活用することは、放射にも期待できます

# 空調

## 2階床天井を空調空間に



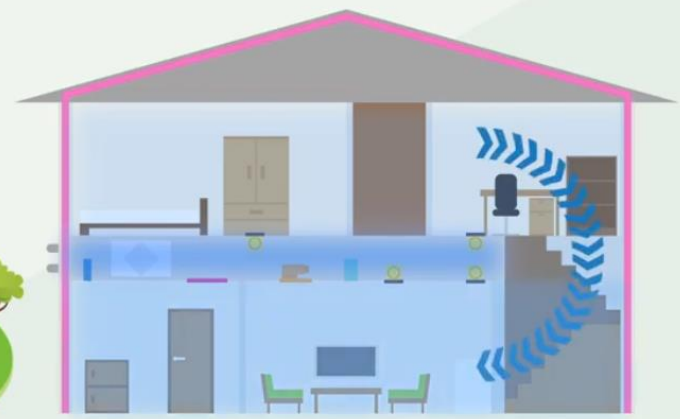
### 階間(空調室)のみの場合

冬



### 階間(空調室)のみの場合

夏



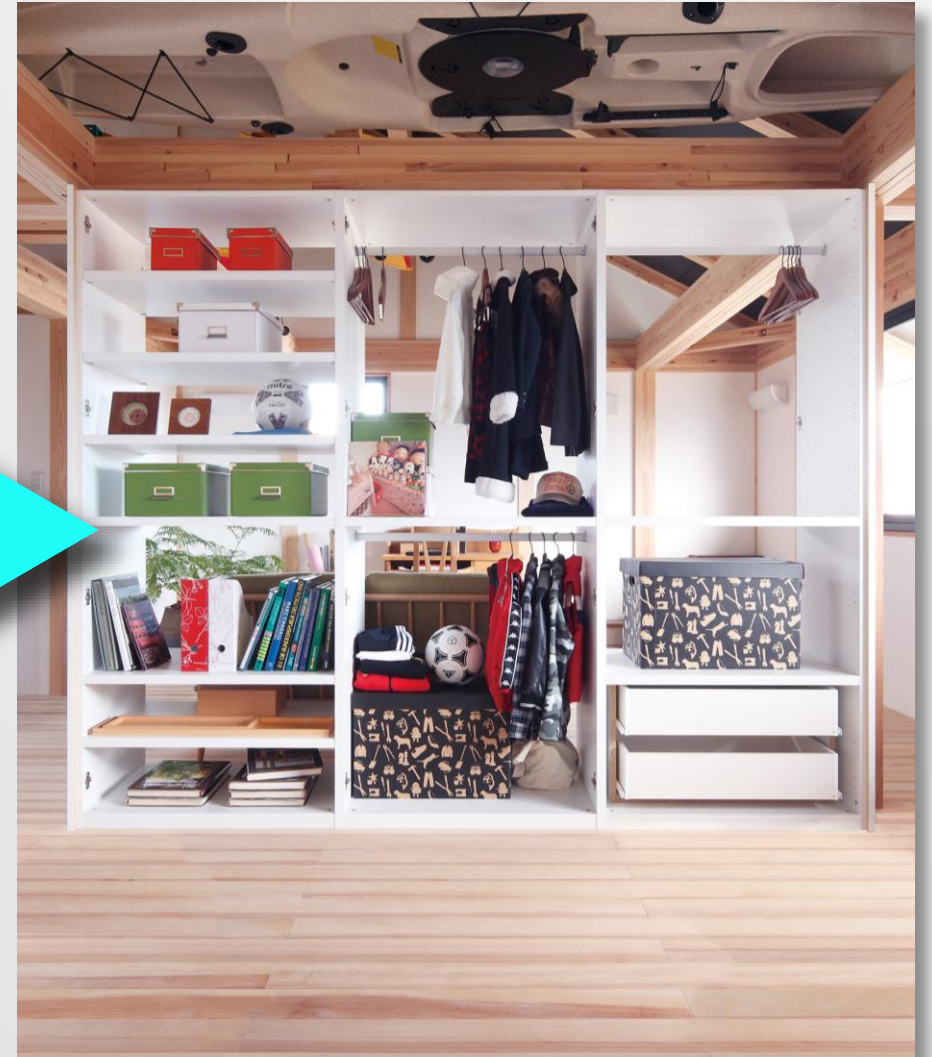
冷気は下がる



## 間取りを変えても、吹出し口をつければエアコンOK

# Life Style

## 大空間を、家具や間仕切りで仕切って個性を発揮



お客様のライフスタイルに合わせて家が変わる



# 企画住宅

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



NUDE  
HAUS

# 企画住宅

女性たちが考えた、ファッション・ライフ・スタイル住宅です。



# NUDE HAUS



企画監修:

株式会社デザインクラブ

一般社団法人日本インテリアアテンダント協会

# NUDE HAUS

NUDEなスペースは、コーディネート自由です。

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



37-2FB-EX

# NUDE HAUS

## プランには、7つのバリエーション

透かしを削除する

		37坪タイプ ◀10,465▶	33坪タイプ ◀9,555▶	31坪タイプ ◀8,645▶
奥行間口	2階浴室 ◀6,825▶			
	1階浴室 ◀6,370▶	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.25坪浴室</li> <li>フルサイズバルコニー</li> </ul>		

# NUDE HAUS

## 顧客要望の聞き出しとセルフクロージング



# NUDE HAUS

スタイル・バリエーションは、132スタイル！

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



# NUDE HAUS



透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement

# NUDE HAUS

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement





# NUDE HAUS

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement

## あなたのスタイルを、インテリア・アテンダントがサポート！



スタイルサポート：  
株式会社デザインクラブ  
一般社団法人日本インテリアアテンダント協会

## 全国のお客様と、リモートでスタイル打合せ実施！



株式会社デザインクラブは、

- オーダーメイドマンションの顧客対応を行ってきました。
- お客様とのコミュニケーション手法で、ISO認証も取得していました。
- リモートワークによる、工務店さんの顧客との個別スタイリングを実施します。

# NUDE HAUS

「ヌードハウス」の商標は、デザインクラブが所有しています。

No.	出願番号/ 登録番号/ 国際登録番号	商標見本	商標 (検索用)	称呼 基準 ▲	称呼 (参考情報)	区分	出願人/ 権利者/ 名義人
1	<a href="#">登録4761701</a> (商願2003-071253)		ヌードハウス	-	ヌードハウス,ヌード	42	株式会社デザインクラブ
2	<a href="#">登録4791150</a> (商願2003-111708)		ヌードハウス	-	ヌードハウス,ヌード	36	株式会社デザインクラブ

➤ 商標検索でも、2件のみ。注目度の高い商標です。

他社には使用できない、魅惑的な商標を活用できます。

# NUDE HAUS

## 「ヌードハウス」の商標は、建築物の設計・デザイン・売買

(111)登録番号 : 第4761701号  
 (151)登録日 : 平成16(2004)年 4月 2日  
 (450)登録公報発行日 : 平成16(2004)年 5月 11日  
 (441)公開日 : 平成15(2003)年 9月 18日  
 (210)出願番号 : 商願2003-71253  
 (220)出願日 : 平成15(2003)年 8月 21日  
 先願権発生日 : 平成15(2003)年 8月 21日  
 更新申請日 : 平成25(2013)年 10月 10日  
 (156)更新登録日 : 平成25(2013)年 10月 29日  
 (180)存続期間満了日 : 令和6(2024)年 4月 2日

商標(検索用) : **ヌードハウス**  
 (541)標準文字商標 : **ヌードハウス**  
 (561)称呼(参考情報) : **ヌードハウス**, **ヌード**

(732)権利者  
 氏名又は名称 : 株式会社デザインクラブ  
 住所又は居所 : 兵庫県神戸市

付加情報 : 標準文字

法区分 : 平成13年法改正  
 国際分類版表示 : 第8版  
 (500)区分数 : 1  
 (511)(512)【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】【類似群コード】

**42** 建築物の設計, デザインの考案  
 42N01 42P01

(111)登録番号 : 第4791150号  
 (151)登録日 : 平成16(2004)年 7月 30日  
 (450)登録公報発行日 : 平成16(2004)年 8月 31日  
 (441)公開日 : 平成16(2004)年 1月 15日  
 (210)出願番号 : 商願2003-111708  
 (220)出願日 : 平成15(2003)年 12月 16日  
 先願権発生日 : 平成15(2003)年 12月 16日  
 更新申請日 : 平成26(2014)年 7月 11日  
 (156)更新登録日 : 平成26(2014)年 7月 22日  
 (180)存続期間満了日 : 令和6(2024)年 7月 30日

商標(検索用) : **ヌードハウス**  
 (541)標準文字商標 : **ヌードハウス**  
 (561)称呼(参考情報) : **ヌードハウス**, **ヌード**

(732)権利者  
 氏名又は名称 : 株式会社デザインクラブ  
 住所又は居所 : 兵庫県神戸市

付加情報 : 標準文字

法区分 : 平成13年法改正  
 国際分類版表示 : 第8版  
 (500)区分数 : 1  
 (511)(512)【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】【類似群コード】

**36** 建物の売買, 建物の貸与, 建物の売買の代理又は媒介, 建物の管理, 建物の賃借の代理又は媒介, 建物又は土地の鑑定評価, 建物又は土地の情報提供  
 36D01 36E01

# NUDE HAUS

NUDE HAUSは、フランチャイズではありません。

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement



# NUDE HAUS

## NUDE HAUSのアライアンスイメージ

1. 商標を活用できます。
  - ・ 「NUDE HAUS」の商標権をご利用いただけます。
2. 営業用ツールを利用できます。
  - ・ プラン集の購入、印刷用プラン集データの購入 (15万円?)
  - ・ Wallstattデータの活用と、活用方法指南 (5万円?)
  - ・ 営業用チラシの制作補助、営業用セミナーの開催補助
3. スタイリング・サポートを活用できます。
  - ・ 顧客とのリモート打合せを実施(3回まで)
  - ・ 顧客別打合せ記録の作成
  - ・ 顧客情報の引継ぎ
4. テクニカル・サポートを行います。
  - ・ 耐震・プレカット図・構造計算書のサポート
  - ・ 各社で建てられた事例等の共有化を推進します
5. その他の条件
  - ・ FCのような基本的な拘束はありません。
  - ・ 構造プレカット迄の情報以降、仕様等は各自対応です。
  - ・ 空調システム等の制約はありません。(絶空調対応可)

# NUDE HAUS

初期費用  
**40万円**

月額  
**3万円**

スタイリング・サポート  
**1.5万円/坪**

注文住宅での  
スタイリング・サポート  
**要相談**

# NUDE HAUS

## 住宅開発プロジェクト・マネージメント方式



10社程度の初期費用によって、開発実施を行います。  
商品開発に参加していただくことで、自社流が実現します。  
各社のプレカット費用等の比較検討を行います。

透かしを削除する

Wondershare  
PDFelement

# NUDE HAUS

初期費用  
**30万円**

月額  
**2万円**

スタイリング・サポート  
**1.2万円/坪**

注文住宅での  
スタイリング・サポート  
**要相談**

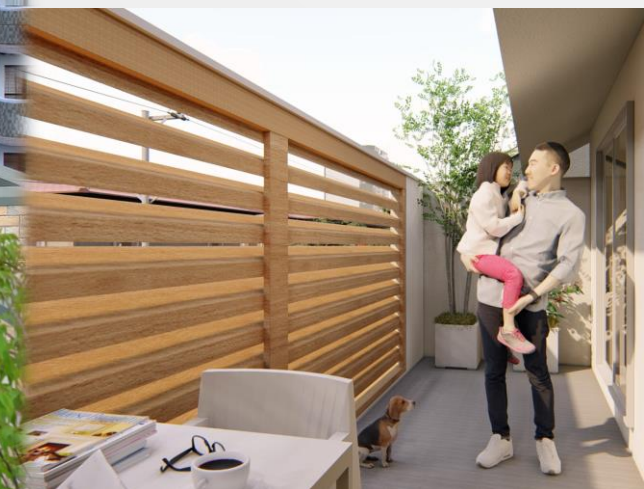
# NUDE HAUS

バルコニーの防水工事は、責任施工で実施。

透かしを削除する



Wondershare  
PDFelement



ジャパン・レジリエンス・アワード 最優秀賞



## + αのテクニカル・サポート MENU (一般住宅向け)

### 1. インテリアアテンダント・スタイリング相談

- 3回までのリモートスタイリング相談

要相談

### 2. バルコニー防水工事責任施工

栄住産業にて対応

### 3. 耐震等級3の設計サポート

- 個別プランに応じて耐震等級3の計画実施
- 構造計算書手配 (150,000円→)
- Wallstattデータの作成(活用方法サポート)
- 同上wallstattデータ(指定工法の場合)

30,000円／施主	60,000円
100,000円／施主	
80,000円／施主	?
40,000円／施主	!

### 4. 基礎&プレカット設計のサポート

- 基礎工法に通じるプレカット図への指示等
- 「eLbase」基礎工事指示

60,000円／施主	120,000円
------------	----------

### 5. 商品開発他

- プラン・プレゼンテーション(1顧客3回まで)
- 同、上記、成約時のデザイン料
- 3Dデータ・プレゼンテーション
- 地域市場分析と住宅戦略コンサルティング

15,000円／顧客	30,000円
15,000円／顧客	20,000円
BlueOcean system	
200,000円／月	250,000円



**B-S-A-L-M** ~ NUDE

Base Structure Air LifeStyle Model

Special Thanks

一般社団法人 **住まい文化研究会**